

土砂災害から身を守る方法

足羽第一中学校 一年三組

林果穂 はやし かほ

私の住んでいる一乗地区は、山に囲まれている、大雨や地震によって土砂災害の危険があります。一月一日の「能登半島地震」では、福井でも震度五弱ありました。私は、地震も怖か、たけれど、土砂くずれが起きないか心配で怖か、たです。なぜなら、私の家は足羽川に近いので、はんらんすると土砂くずれや土砂災害になる可能性が高くなると感じたからです。

また、大雨や風がいつもより強い日は、木が折れていたり、少し大きな石などが落ちていたりします。それを見ると不安な気持ちになります。

しかし、不安な気持ちになるということは準備不足でもあると思いました。なので、日頃から天気予報を見ておいたり、避難場所の確認とその行き方を、自分だけではなく、家族と確認したりしたいです。

このように、「避難場所の確認をする。」などの、小学校で教えてもらったことや、あたりまえのことでも、もう一度考えることが大事だと思いました。これは、土砂災害に限ったことではありません。地震・火事・津波などでも同じ事が言えます。

災害はいつ・どこで・誰といる時に起きるかわかりません。その状況によって行動も変わってくると思います。なので、いつ災害が起きても、すばやく避難したり、正しい行動をとったりできるようにしたいです。

私は、小学校の時にした避難訓練でパニックになっ、てしまっ、た事を覚えています。怖くて、放送や先生の話を静かに聞けなかつ、たり、自分勝手な行動をしたりしてしまいました。訓練でも怖く、まちがっ、たことをしていたので、実際に災害が起きたら……そう考えると、土砂災害などの怖さが避難訓練をふり返っ、て思いました。

これから、自分の命が最優先だけだと、

周りの人の命も守れるようにしたいです。声をかけたり、山から離れたりするなど、小さな行動でもできることはたくさんあると思います。また、自分で考えた意見や案を地域の人達と共有することも大切だと思いました。例えば、山が多いので、少しでも土砂が下まで来ないように、危険な場所に柵を作るなどの案です。一乗地区全体を災害から守るためには、地域の人達と協力して対策をしていかなければならないと思います。

ですが、自分の住んでいる一乗だけが土砂災害の危険があるわけではありません。他にも山が近く、土砂災害になりやすい地区はたくさんあると思いました。

例えば酒生では、山のすぐ横に家が何軒も立っていました。つまり、土砂くずれなどの危険があるということです。

このように一乗地区だけが危ないのではなく、酒生などをふくむ、足羽一中校区も土砂災害が起きると危ないと感じました。

また、一乗には朝倉氏遺跡という、歴史のある観光地があります。しかし、朝倉氏遺跡にある四つの庭園は、ほとんどが山に近く、土砂くずれが起きると、とても大事な庭園の石碑などが欠けてしまいかもしれません。他にも、重要文化財に指定されている物がたくさんあります。このような歴史のある物を守るためにも、木が折れていたり切ったり、土砂災害で欠けてしまう可能性がある物は、博物館に移したりするなど、いろいろな工夫をすれば朝倉氏遺跡を災害から守ることができると考えました。

土砂災害は、大体地震によって起きることがあります。ということは、一月一日にあつた「能登半島地震」の余震がまだあるかもしれないということですね。そうすると、土砂災害につながってしまいます。なので、気を抜かず、普段から防災グッズを用意したり、地図を用意したりして、いつ土砂災害が起きても家族全員ですばやく行動できるように、

意識しながら生活したいです。

このように、土砂災害が起きると、私の家や一乗地区や足羽一中校区全体に被害が出てしまうとわかりました。そのためにも、いつ起こるかわからない災害に備えて、あたりまえの事でも、もう一度見直したり、家族や地域の人達と協力したりしながら、自分の命と周りの命を守る行動ができるようになりたいです。そして、身近な人達にも土砂災害の怖さや、どんな対策が必要かを伝えていきたいです。